



世界に希望を生み出そう
RI会長 ゴードン R. マッキナリー

2023-2024年



Rotary District 2640 Japan

ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

海南東ロータリークラブ

会長 岸 友子 幹事 角谷 太基 SAA 田中 祥秀

第 2169 回例会

2024 年 2 月 25 日(月)

海南商工会議所 3F 会議室 10:00～
クリーンアップ作戦 清掃活動(雨天中止)

1. 開会点鐘

2. ロータリーソング

省 略

3. 出席報告

会員総数 39 名 出席者数 20 名
出席義務規定適用免除会員 2 名
出席率 54.05% 前回修正出席率 67.54%

4. 会長スピーチ

会長 岸 友子 君

本日は、清掃活動を予定していましたが、あいにくの雨で中止となりました。角谷幹事には、昨日から、天気予報や海南、海南西クラブとの連絡調整、みなさんへの連絡等、大変、お世話をおかけしました。お弁当の関係もあり、急遽、予定を変更し、10 時からの例会となりました。



また、先週の 22 日から、宮崎中央ロータリークラブを訪問いたしました。海南6・2水害のお見舞金のお礼の意味を兼ね、当クラブより総勢 15 名で夜間例会に参加しました。宮崎中央 RC の歓迎、もてなしを受け、多くの皆様とさらに友情を深めることができました。有難うございました。



5. 幹事報告

幹事 角谷 太基 君

○例会臨時変更のお知らせ

有田南 RC 3月12日(火)
18:30～(家庭集会)シーサイド松宮
和歌山西 RC 3月13日(水)
18:00～(夜間例会)鉄板焼「石田」

○例会休会のお知らせ

和歌山東南 RC 3月13日(水)
有田 RC 3月21日(木)

6. 社会奉仕委員長

楠部 均 君

本日の清掃活動は雨天のため、残念ながら中止となりました。折角、準備、参加していただきましたが、例会終了後、お弁当をお持ち帰りいただきたいと思います。

本年度予定の社会奉仕活動は、これで最後となりますが、今後も地域の社会奉仕に関する活動に取り組んでいきたいと思っています。皆様のご協力をお願いします。



7. 閉会点鐘

次回例会

第 2170 回 2024 年 3 月 4(月)

海南商工会議所 19:00～

お誕生日、結婚記念日のお祝い

2月は「平和構築と紛争予防月間」

宮崎中央ロータリークラブを訪問報告

メイクアップ 2月22日(木)夜間例会

場所 シーガイア

参加メンバー

岸、上田、谷脇、上野山、大江、山畑、桑添、角谷、
前田誠、田中祥、中西、宇恵、田岡、楠部、中村
(合計 15 名)

【概略レポート】

幹事 角谷 太基 君

友好クラブである宮崎中央ロータリークラブの海南6・2水害のお見舞金のお礼の意味を兼ね、当クラブより総勢 15 名にて、宮崎中央ロータリークラブの夜間例会に参加しました。

例会会場は、あの有名なシーガイアということもあり、参加メンバー同、心の高まる例会となりました。当クラブからは岸会長および、友好クラブ締結時の会長の谷脇さんよりスピーチがあり、水害のお見舞いに対するお礼や、友好クラブとし



四つのテスト 幸せはこれに尽きるから

①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002

海南市日方 1294 (海南商工会議所 4F)
TEL:073-483-0801 FAX:073-483-2266

http://www.kainaneast-rc.jp

E-mail: info@kainaneast-rc.jp

てのこれまでのつながり・友情に対する感謝の気持ちがのべられました。

例会では、江口会長、西川幹事、渡邊会長エレクトなど、宮崎中央 RC の多くの皆様とさらに友情を深めることができたのも、ロータリアンならではのつながりだと感じました。



二日目は、ゴルフ組と観光組に分かれ、それぞれ、宮崎での時間を楽しみ、当クラブの会員同士の友情を深めることもできました。



楽しい時間はあっという間でしたが、例会にて、来年度の当クラブの 50 周年記念事業、また宮崎中央ロータリークラブ 40 周年事業での再会を約束し、宮崎を後にしました。



ニコニコ・BOX

岸 友子 君	宮崎中央 RC 参加の皆様とても楽しいひと時を過ごせてありがとうございました。
角谷 太基 君	宮崎中央 RC 訪問の話とゴルフの話
田中 祥秀 君	〃
田岡 郁敏 君	〃
楠部 均 君	〃
宇恵 久視 君	〃
上野山雅也 君	〃
中西 秀文 君	〃
山畑 弥生 君	〃
大江 久夫 君	〃
前田 誠吏 君	〃

Rotary NEWS

侵攻から2年、活動し続ける ウクライナのロータリー

第 2232 地区が世界中のロータリークラブとの橋渡し、被災者の支援に貢献しています。

ロシアがウクライナに侵攻してから 2 年が経過した現在も、世界中のロータリー会員が資金を集め、医薬

品や燃料などの生活必需品を被災者に送り続けています。

ロータリー財団が特設した救援基金(現在は寄付を受け付けていません)には、世界中から 1,740 万ドルの寄付が寄せられました。この寄付は、375 口以上の補助金としてロータリー会員によるさまざまな支援活動に活かされました。



また、世界各地で多くのロータリークラブと地区が地元でウクライナ支援のための人道的活動に乗り出しました。第 2232 地区(ウクライナ)との連携の下、これらの支援活動によって医薬品、医療機器、救急車、発電機、暖房用燃料、冬用備品などの救援物資が被災者に届けられました。

2022 年 2 月 24 日のロシアのウクライナ侵攻以来、ロータリーの存在感が高まったと、第 2232 地区のバスターガバナー、ミコラ・スタビャンコさんは「以前よりも活発に活動しており、組織としてさらに確立された」とスタビャンコさん。「地元の人たちから多くの支援要請が寄せられ、国外のクラブからの支援の申し出も増えています。これを見た人たちが、ロータリーへの入会に関心を抱くようになっていきます」ウクライナではこの 2 年間に 500 人以上の新会員がクラブに入会しました。そして、ロータリー会員であることの意義を新会員に教え、積極的参加を促しました。

また、奉仕活動が増えたことでメディアからの注目も高まりました。「戦争の前、ニュースでロータリーを取り上げるメディアはありませんでした。今では、ロータリーからの支援や活動のインパクトにメディアが注目し、取り上げてくれるようになりました」

第 2232 地区のガバナーであるミロン・ウリンさんは、これまで数カ月、ウクライナ国内全域から詳細な状況報告を集めてきました。救援活動を導き、支援方法がわからないという国外の会員に支援方法を提案するために、これらの報告を役立てています。地区は、ウクライナ国外のクラブ・地区による支援活動を援助する委員会も結成しました。国外と国内のクラブ・地区を結びつけています。援助を申し出る手紙が世界中から毎日数十通も届くそうです。最近のビデオ会議で、その日の朝に届いた手紙の束を手に「これが、私が報告を集める理由です。国全体の状況を把握し、情報を交換し、活動のインパクトを高めるためです。ほかのロータリークラブや地区とのネットワークとパートナーシップを今後も継続していきたいと思っています」



世界でよいことをしよう